

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	技能士などスキル人材をエキスパート化するエキスパートトレーナー(技能指導者)養成プログラム		
法人名	学校法人有坂中央学園		
学校名	中央工科デザイン専門学校		
代表者	理事長 中島利郎	担当者 連絡先	経営法務室 TEL 027-256-7000

1. 事業の概要

中高年が2007年以降に定年を迎え大量に退職する2007年問題の重要な要点に「技能(スキル)の伝承」がある。退職者をはじめ、退職予備軍の中高年には、技能士などの資格を取得し、高い専門技術・知識を有している人材(スキル人材)が多数いるが、スキルを次世代に伝える能力(人を扱う能力・コーチング能力)にやや欠ける面もあり、これが技術伝承問題の一因になっている。本事業は、高い技術・技能を持ち、スキルを伝える人材の指導する方法・能力(コミュニケーション能力)を高め、エキスパートトレーナー(技能指導者)を養成した。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

- (1) 受講者アンケートから、今回実施した講習内容に8割以上の評価が得られた。
- (2) 演習、班別発表から講評を得て、受講者の各職場で役立てることができる講習内容だった。
- (3) 本事業は計画どおり全講座を開講できた。

②事業により得られた成果

受講者からの講評がすべてであるが、講座の運営により以下の「教材のレベルアップ」が図れた。テーマ1. 仕事の教え方～安全作業の仕方:教育目的の教え方の成果 テーマ2. 自己発見～カウンセリング:自ら成長する人材教育の成果 テーマ3. システム思考とプロセス思考～発想法とデータ発想法:科学的な仕事の理解(問題解決技法)の成果 テーマ4. プレゼンテーション:説明・説得能力の成果 詳細は別紙「実績報告書(9ページ)」参照

③今後の活用

- (1) 本事業の教育対象は熟練技能をもった中高年向けの技術の伝承を目的とした教育講座である。講座の開講時間帯や受講者の募集にはさらに工夫が必要であるが、中高年技能者にも企業にも高い教育ニーズがあることがわかったので、次年度も取り組みたい。
- (2) 事業活動の成果は、講座の運営あたって協力いただいた職業教育訓練機関、教育機関に周知した。

④次年度以降における課題・展開

- (1) 産業界と連携し今回の成果を活用した講座を実施したい。
- (2) 反省課題として、本事業では当初予定していた既に退職者した熟練技能者の受講が少なかったのが反省課題である。教育ニーズは多様だが、募集の仕方を工夫しなければならない。
- (3) 現在の教育ニーズとして、板金業界など特定の職種分野で教育ニーズがあり、具体的な技能の伝授と併せた教育展開も検討したい。

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

(連絡協議会の開催)

1. 連絡協議会の開催 平成18年8月11日～12月13日:計6回
2. 講座運営会議の開催 平成18年8月21日～12月12日:計8回
3. 検討会議の開催 平成18年12月22日～平成19年2月16日:計4回

(講座の実施内容)

- テーマ1. 仕事の教え方～安全作業の仕方:平成18年10月23日～11月8日
テーマ2. 自己発見～カウンセリング:平成18年11月9日～11月16日
テーマ3. システム思考とプロセス思考～発想法とデータ発想法:平成18年11月17日～12月15日
テーマ4. プレゼンテーション:平成18年12月18日 詳細は別紙「実績報告書(9ページ)」参照

(成果の周知)

事業の実績報告書を200部用意し関係団体に周知した。

②その他

受講者から特に好評だったのがリーダーシップや作業手順の分解(自己分析)などである。詳細は実績報告書20ページで受講者アンケートを取りまとめた結果でご説明させていただくが、受講者が日ごろの職場で疑問や悩んでいたことに対する回答またはヒントを与えることができたと思料する。